

令和7年度小笠南小学校教育の振り返り<1学期>について（お知らせ）

7月に実施した小笠南小学校学校評価保護者アンケートへの御協力をありがとうございました。調査結果をまとめましたので報告いたします。（有効回答率：70.4%）

				過去3年での最高値	5ポイント以上変動
調査項目	対象	R6 2学期 肯定的% (児童は、3学期)	R7 1学期 肯定的%	R7数値目標	前回との増減
1 学校が楽しい	児童	93.4	95.2	95	1.8
	保護者	94.6	95.5		0.9
	教師	100	100		0
2 みんなで何かをするのは楽しい	児童	99.2	96	90	-3.2
	保護者	95.7	97.7		2
	教師	100	100		0
3 授業に主体的に取り組んでいる	児童	95	93.5	95	-1.5
	保護者	81.7	85.2		3.5
	教師	100	84.6		-15.4
4 授業がよく分かる	児童	92.6	91.9	90	-0.7
	保護者	79.6	80.7		1.1
	教師	80	71.4		-8.6
5 学校に、信頼することのできる先生がいる	児童	94.2	91.9	90	-2.3
	保護者	97.8	94.3		-3.5
	教師	100	100		0
6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある（5・6年生のみ）	児童	97.3	84.4		-12.9
	保護者	68	69		1
	教師	60	61.5		1.5
7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う	児童	95	91.9		-3.1
	保護者	84.9	81.8		-3.1
	教師	73.3	85.7		12.4
8 授業では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか	児童	83.5	95.2		11.7
	保護者	88.2	86.4		-1.8
	教師	100	92.9		-7.1
8① 授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っているか（3年生以上）	児童	80.5	75.6		-4.9
	保護者	-	-		-
	教師	100	83.3		-16.7
8② 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか（3年生以上）	児童	61	69.8		8.8
	保護者	-	-		-
	教師	86.7	76.9		-9.8
8③ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか（3年生以上）	児童	46.3	54.7		8.4
	保護者	-	-		-
	教師	73.3	76.9		3.6
9 進んであいさつしようとしている	児童	95.9	93.5		-2.4
	保護者	75.3	71.6		-3.7
	教師	66.7	35.7		-31
10 自分や学級、学校をよりよくしようと、進んで行動している	児童	95	93.5		-1.5
	保護者	79.6	84.1		4.5
	教師	86.7	92.9		6.2
11 だれかの役に立とうとして行動している	児童	94.2	92.7		-1.5
	保護者	88.2	86.4		-1.8
	教師	86.7	92.9		6.2
12 自分や友達のよさに気付こうとしている	児童	83.5	87.9		4.4
	保護者	81.7	90.9		9.2
	教師	86.7	100		13.3
13 普段の生活の中で、相手の気持ちを考えて行動している	児童	-	91.9		-
	保護者	-	85.2		-
	教師	-	92.9		-

市共通項目

学校オリジナル項目

調査項目		対象	R6 2学期 肯定的% (児童は、3学期)	R7 1学期 肯定的%	R7数値目標	前回との増減
14	授業の中で、相手の考えや立場を知ろうとしている	児童	-	91.9	/	-
		保護者	-	84.1		-
		教師	-	84.6		-
15	相手を意識して、分かりやすく伝えようとしている	児童	-	96	/	-
		保護者	-	76.1		-
		教師	-	71.4		-
16	分かったことや学習の振り返りを書くことができる	児童	-	95.2	/	-
		保護者	-	67		-
		教師	-	84.6		-
17	我が家は、小笠南小学校が進めている教育を理解するために、学校が発信しているホームページやお便りを見ている。	児童	-	-	/	-
		保護者	98.9	98.8		-0.1
		教師	-	-		-
18	我が家では、子どもの学校での頑張りを認め、褒めるように心がけている。	児童	-	-	/	-
		保護者	98.8	100		1.2
		教師	-	-		-
19	我が家では、読書や家庭学習の見届けをするなど、子どもが基本的な学習習慣を身に付けられるようにするための支援をしている。	児童	-	-	/	-
		保護者	95.5	94.1		-1.4
		教師	-	-		-
20	我が家では、挨拶・早寝早起き・朝ごはん・忘れ物ゼロなど、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられるようにするための支援をしている。	児童	-	-	/	-
		保護者	100	100		0
		教師	-	-		-
21	学校は、地域・家庭と協力して教育活動を進めている。	児童	-	-	/	-
		保護者	94.4	98.8		4.4
		教師	-	-		-

※保護者、教師を対象とした調査項目の主語は、「子どもは」です。

<アンケート結果の分析・考察>

今年度重点的に育成を図っている資質・能力に係わる項目(数値目標を設定した項目)についての成果と課題は、次のとおりです。

- 1 「学校が楽しい」 肯定的回答：95.2% → ○目標達成**
子ども、保護者、教員、ともに高い水準であり、前回と比較しても増加しており、今年度の学校生活が気持ちよくスタートできたことの表れです。
- 2 「みんなで何かをするのは楽しい」 肯定的回答：96% → ○目標達成**
運動会という大きな学校行事があったことで、クラスの友達だけでなく、異学年を含めたみんなで、一つの目標に向かって頑張ることができた成果です。
- 3 「授業に主体的に取り組んでいる」 肯定的回答：93.5% → ▲目標未達成**
子どもの肯定的回答が前回より1.5%低下し、目標達成までもう少しでした。今年度、本校では「『楽しい』姿がある授業づくり」をテーマに校内研修を進めているので、これが子どもたちの主体的に取り組む姿につながっていくように授業実践を積んでいきたいと思ひます。
- 4 「授業がよく分かる」 肯定的回答：91.9% → ○目標達成**
目標値を越えることはできましたが、保護者、教師の数値は低くなっています。学力向上は、岳洋学舎の大きな課題であるので、この先も保護者、教師が一丸となって子どもたちの学習面のサポートを続けていく必要があります。
- 5 「学校に、信頼することのできる先生がいる」 肯定的回答：91.9% → ○目標達成**
目標値を超えることはできましたが、子どもと保護者の数値は前回より低下してしまいました。学校はこの事実をしっかりと受け止め、子どもと保護者にとって安心・安全な学校となるように学校職員一同で取り組んでいきます。

※自己決定力：89.0%、レジリエンス：91.5%、人間関係形成能力：92.3% → ○高い水準
今年度、特に磨きたい資質・育みたい能力です。行事や学級活動などの一つ一つの教育活動の成果が表れているのだと思ひます。

今回の調査では、有難いことに4つの項目が目標達成することができました。これは、子どもたちが「進歩」・「役立つ」という2つのキーワードを意識し、日々様々なことにチャレンジすることを通して成長できたことの証です。そして、それは子どもたちのグッドジョブな姿を認め、褒めて、励ましてくださった保護者のみなさんのおかげでもあります。実際、「自分や友達のよさに気付こうとしている」の数値は、三者とも大きく向上しています。一方で、「進んであいさつしようとしている」の数値が三者とも下がっているなど新たな課題も見えてきました。2学期以降は、「進んであいさつ＝自信をもって表現できる子」の育成をめざして、教職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

<皆様からいただいた御意見より>

南っ子のグッドジョブみつけをありがとうございました。どれも素敵なグッドジョブばかりで、保護者の皆様がお子さんのよさや頑張りを十分に認め、褒めてくださっていることを有難く思ひます。また、南っ子の課題にも目を向けていただき、学校職員も改めて子どもたちに身に付けさせていくべきことを再認識することができました。

なお、保護者の皆様から寄せられたたくさんの御意見を、それぞれ3つに分類してみました。

<p style="text-align: center;"><保護者の皆様を感じる南っ子のグッドジョブ></p> <ol style="list-style-type: none"> 異学年交流を通して育まれる豊かな人間関係と協調性 明るく元気なあいさつと地域との温かいつながり 互いを認め合い、高め合う集団意識と努力を称賛する姿勢 	<p style="text-align: center;"><保護者の皆様を感じる南っ子の課題></p> <ol style="list-style-type: none"> 閉鎖的になりがちな人間関係と視野の拡大 コミュニケーション能力の向上と主体性の育成 社会性を育む外部との接点とメディアリテラシーの強化
--	---

これらのグッドジョブや課題は、子どもたちがより良い人間関係を築き、学習や成長に取り組むための大切な要素です。これからの学校教育活動の中でも、子どもたちの課題を改善するとともに、グッドジョブを大きく伸ばしていけるようにしていきたいと思ひます。

皆様の思いをしっかりと受け止め、今後も地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支える学校を目指してまいります。学校は教育目標である「自信をもち 自分の力を発揮する子」の具現のため、精一杯努力してまいりますので、御理解・御協力のほど、よろしくお願ひいたします。